

第5回 ニッケピュアハート エッセー大賞

<中学の部 優秀賞>

笑顔の意味

三輪ひとみ

「あら、めめちゃん。ママの背を抜かしたんじゃない。」と、満面の笑顔で迎えてくれました。今年から祖母は高齢者用施設で生活しています。以前より患っていた認知症が進み、家庭での介護が困難になったからです。今日は施設に入った祖母のお見舞いの日なのです。祖父が亡くなり、深い悲しみに暮れていた祖母は約十年の間、独り暮らしを続けてきました。幼い頃より大家族で育ち、結婚後も多くの人と関わる事の多かった祖母には、祖父のいない生活は話し相手も少なく精神的にも苦痛だった事と思います。そんな寂しさが次第に祖母の身体を蝕んでいったのかもしれませんが。伯父や伯母の献身的な介護も祖母を寂しさの淵から助け出す事は難しかったのです。

目の前の祖母は、昔の思い出を止め処なく話しています。祖母の少女時代の話です。父母も私も、何度も繰り返される話に対し戸惑いながら聞いていました。時折、私はこっそり時計を一瞥し「そろそろ帰るのかな」と、父母に目を向けましたが、まだ帰る素振りは見せません。祖母は、昔の元気を取り戻したかのように生き生きとしています。背筋をぴんと伸ばして、時折、私達に「暑くないかしら?」「飲みものは?」と気遣ってくれます。何よりも驚いたのは祖母の笑顔でした。「人は生き方がしわとなって顔に表れる。」と母に聞きました。人に対して意地悪をすると意地の悪い顔になり、心配事が多いと困った様な顔にしわが表れるのです。祖母は優しい顔をしています。どんな事があっても、ずっと笑顔で生きてきたからこそ優しい顔をしているのだと思いました。私も、辛いこと、悲しいことがあっても祖母のように笑顔で生きていこうと思いました。

そんな事を、考えながら、もう一度、祖母の笑顔を見つめました。今日はもう少し、祖母のおしゃべりにお付き合いをしようと思いました。